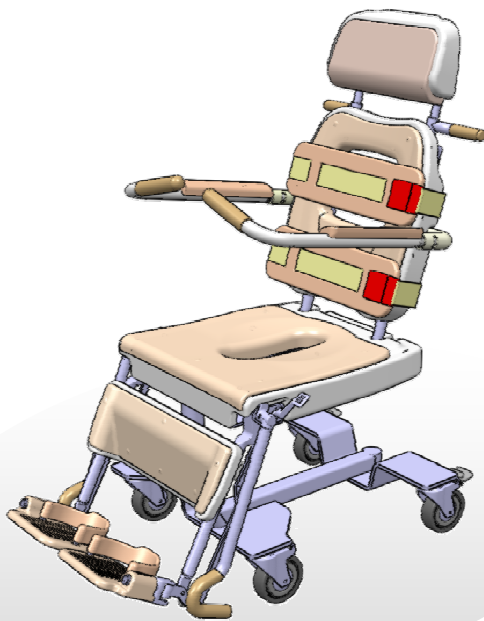
取扱説明書

スイートピー用

入浴用車椅子

ＳＷＰ－１００Ｃ

✱このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

✱「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として、大切に保管してください。

01-147⑥L1

もくじ

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
ご使用になる前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　適用製品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　入浴の操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
操作方法（各部） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
　キャスター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
　フットレスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　浴槽内進退用ハンドル ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
　安全ベルト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
　手すり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
　背当 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
　ヘッドレスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
　車椅子上の作業手順と注意点 ・・・・・・・・・・・・・ 16
日常のお手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
　清掃 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
　マットの着脱 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
機器の保守・点検について ・・・・・・・・・・・・・・・ 19
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
仕　様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

用途

本製品は、当社浴槽『スイートピー』(SWP-100)用の入浴用車椅子です。浴槽と組み合わせて使用します。

特長

- **トランスファーしやすい車椅子**
  座面を低く、奥行きを浅くし、レッグレスト部をへこませることで、正面からの乗り降りを行いやすくしました。介助者の足が車椅子に接近できるので、介助労力が軽減します。
- **座り心地の良い車椅子**
  入浴者の身体にあった形状の座面・背当てと、柔らかい材質の成型マットを採用し、座り心地と安全性を向上。
- **安心・安全の対面入浴式**
  介助者が入浴者を常に確認しながら、安全に浴槽内に進入する対面方式を採用しています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

車椅子上の作業

警告

移乗のときは、車椅子後部の浮き上がりに注意

座面に浅く座ると、車椅子後部が浮き上がり、入浴者が落下する恐れがあります。

入浴者をフットレストの上に立たせない

車椅子後部が浮き上がり、非常に危険です。

入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意

狭い入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら十分注意して作業を行い、洗身時はベルトを使用してください。

注意

車椅子との接触に注意

入浴者の移乗のときや、車椅子から立たせた後に車椅子を移動させるときに、車椅子との接触で思わぬけがをする場合がありますので注意してください。

入浴者をフットレストの上に立たせない

車椅子後部が浮き上がり非常に危険です。

車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意

キャスターが隙間等に挟まると、車椅子が傾いたり、転倒する恐れがあります。

注意

車椅子を移動するときは、周囲に注意

周囲に他の入浴者や障害物がないことを必ず確認し、浴槽や壁にぶつけないようにしてください。

車椅子の移動は、ゆっくりと行う

入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。また、段差を乗り越える場合は、一旦停止してから前輪、後輪とキャスターを持ち上げるように押して、通過してください。

車椅子を移動するとき、介助者の足先に注意

後方へ引くように移動すると、介助者の足先が椅子フレームの下側に入り込む場合がありますのでご注意ください。

車椅子との接触に注意

入浴者の移乗のときや、車椅子から立たせた後に車椅子を移動させるときに、入浴者が車椅子との接触で思わぬけがをする場合がありますので注意してください。

各部

⚠警告

停止しているときは、必ずキャスターをロックする

キャスターがロックされていないと、車椅子を移動した後や移乗・洗身・清拭時などに、車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

傾斜のきつい浴室床面やグレーチング上に停止させない

滑って転倒する恐れがあります。

車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせ、ひじを手すりの内側に入れ、安全ベルトを使用する

- 握っていないと上肢が車椅子の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。
- ベルトをしなかったり、ベルトをゆるめ過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

皮膚の弱い入浴者の場合、接触部分にタオル等を使う

皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやマット等への軽微な擦れで皮膚が傷つく恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなってけがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせる

握っていない手が浴槽との間に挟まれる恐れがあります。また、握らないと上肢が車椅子の外側に出て入浴時などにけがをする恐れがあります。
握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。

リクライニング操作は、ゆっくりと行う

背当を起こすときに勢いよく持ち上げると、車椅子後方が浮き上がり、前に転倒する恐れがあります。

⚠注意

安全ベルトの損傷に注意

ほころび始めたり、切れかかってきたり、マジックベルトの接合力が弱くなってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

ヘッドレストの高さ調節はゆっくりと行い、必ずロックを確認

ロックされていないとヘッドレストの高さが急に変わり、入浴者にショックをあたえる恐れがあります。

フットレストを必ず上げる

フットレストを上げないまま浴槽に進入させるとハンドルが浴槽に当たり事故につながります。必ずフットレストを浴槽内進退用ハンドルで上げてから浴槽へ進入させてください。

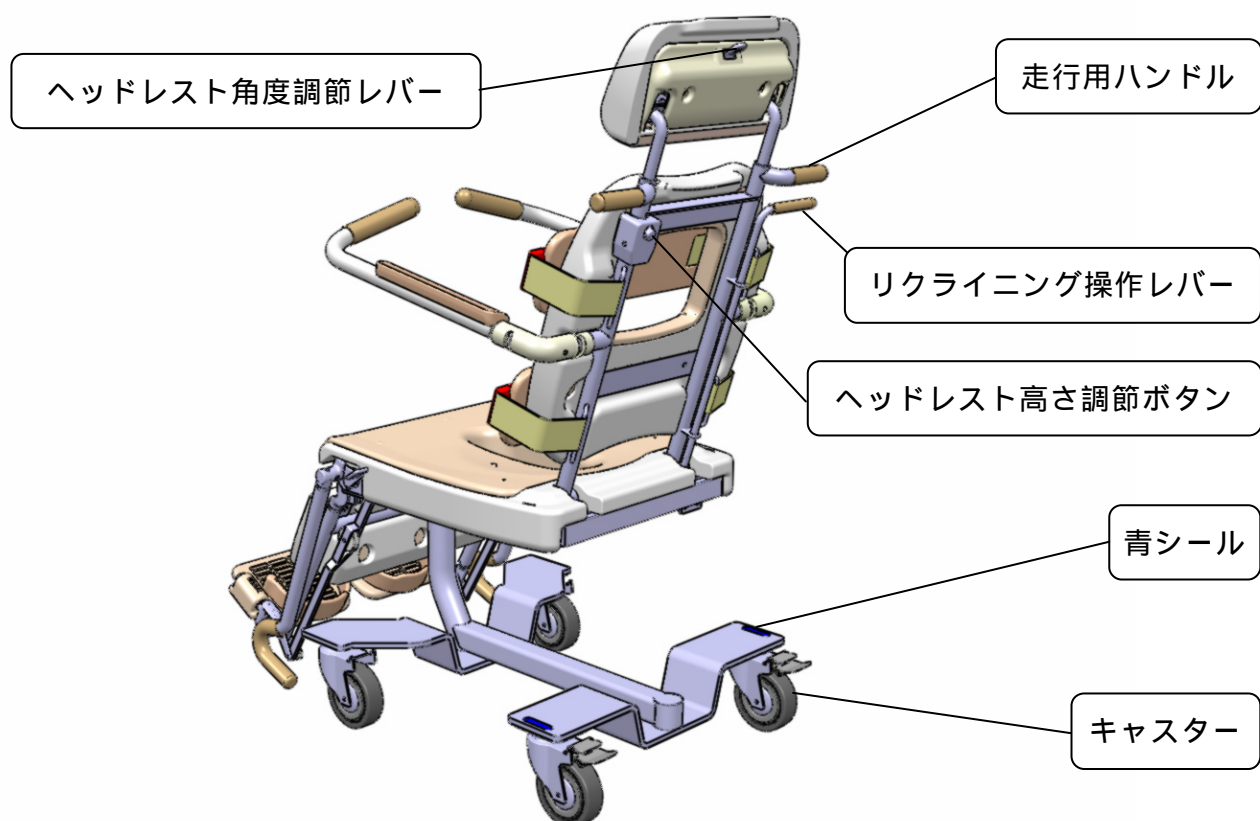
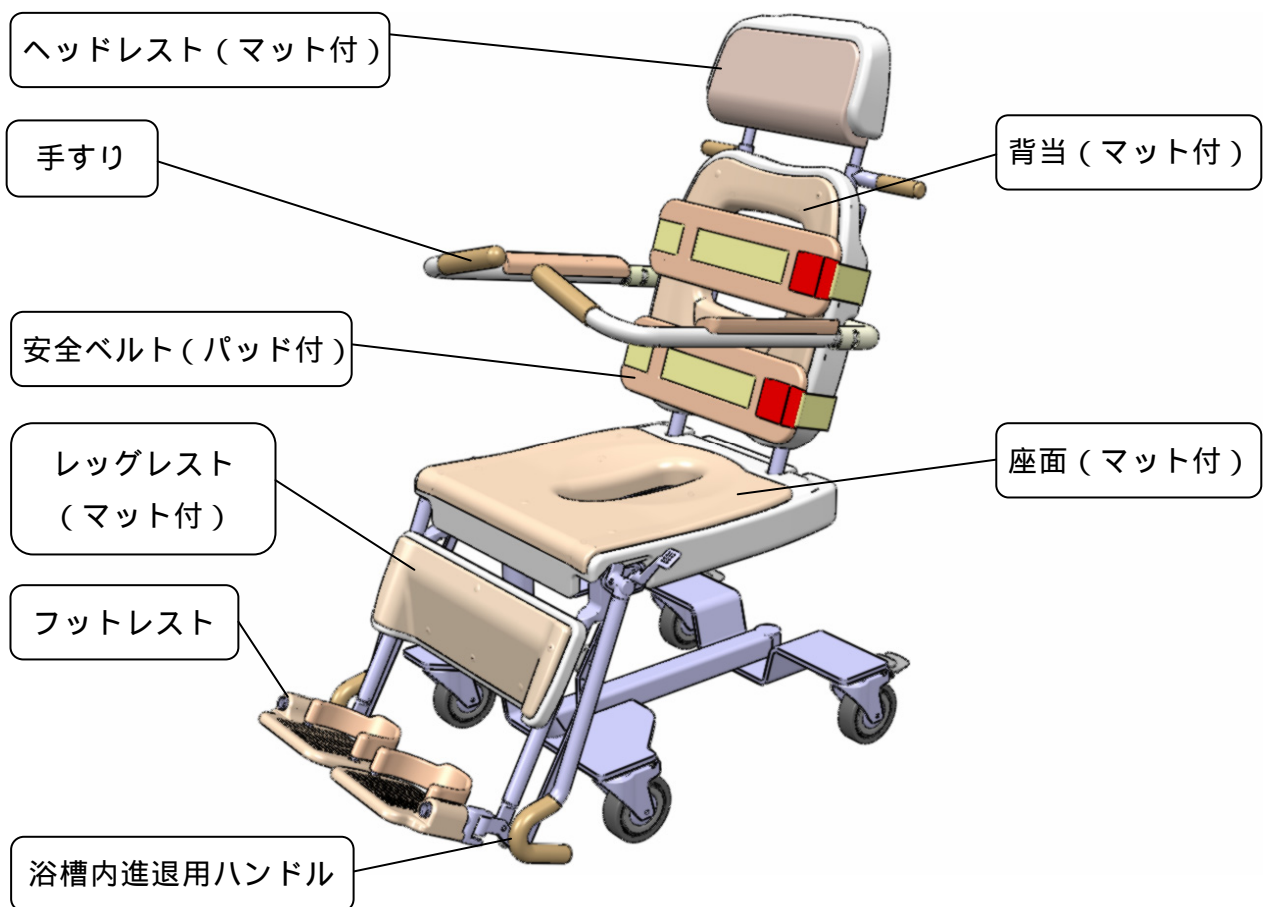
フットレストを下げるときは浴槽内進退用ハンドルを途中で離さない

浴槽内進退用ハンドルを途中で離すとフットレストが急激に落ちて危険です。

マットの損傷に注意

古くなって破れたり、差込凸部が損傷し固定することができなくなったら、新しいものと交換してください。

各部の名称

ヘッドレスト（マット付）
手すり
背当（マット付）
安全ベルト（パッド付）
レッグレスト
（マット付）
座面（マット付）
フットレスト
浴槽内進退用ハンドル
ヘッドレスト角度調節レバー
走行用ハンドル
リクライニング操作レバー
ヘッドレスト高さ調節ボタン
青シール
キャスター

ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.19の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

適用製品

本製品は、当社浴槽『スイートピー』(SWP-100)用の入浴用車椅子です。

必ず専用の浴槽と組み合わせてご使用ください。

入浴の操作方法

浴槽の操作方法及び入浴手順については、『スイートピー』(SWP-100)の取扱説明書を十分に読んでからご使用ください。

●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

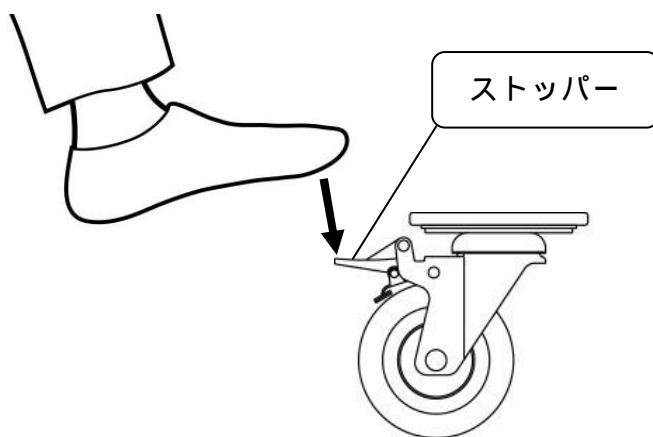
操作方法(各部)

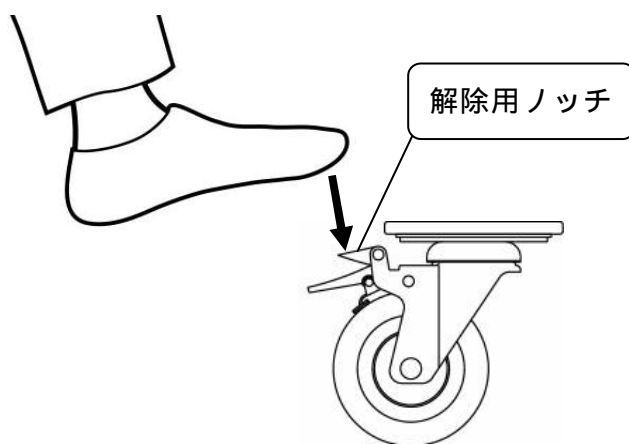
キャスター

後輪２輪のキャスターにストッパーがついています。

移乗作業、洗髪・洗身作業、清拭作業時等のように入浴用車椅子上で作業をするときは、車椅子が動かないようにロックしてください。

ロック

キャスターのストッパーを踏みます。

解除

解除用ノッチを踏みます。

警告　停止しているときは、必ず２つのキャスターをロックする

ロックされていないと、車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

傾斜のきつい浴室床面やグレーチング上に停止させない

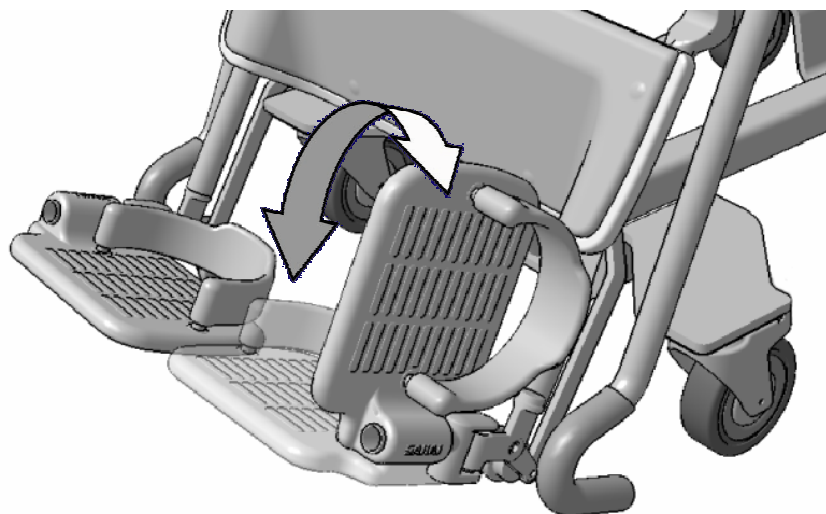
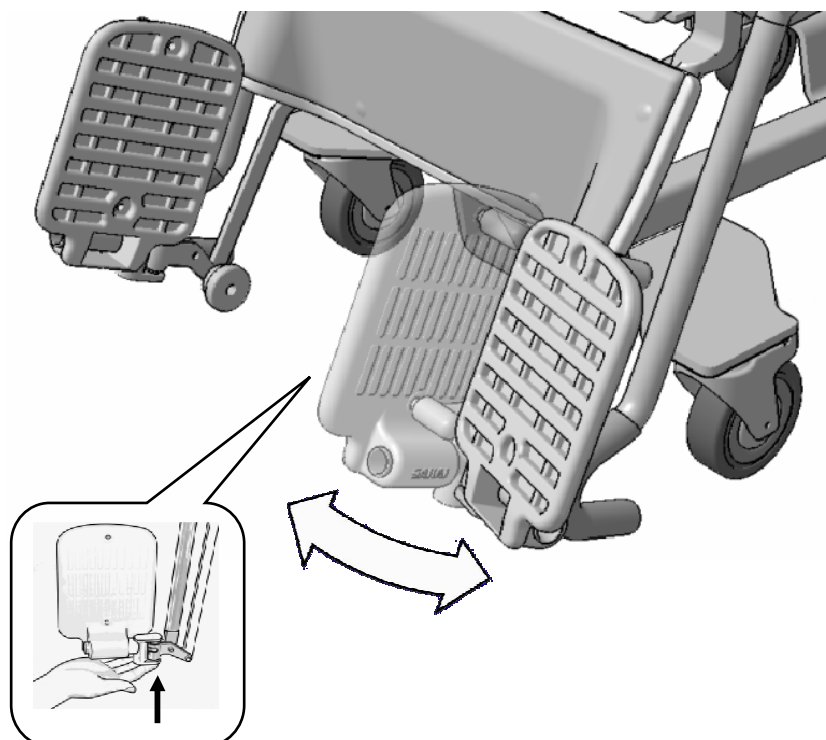
滑って転倒する恐れがあります。

フットレスト

移乗の際は、フットレストを上に跳ね上げ、外側に回転させて、入浴者の足周りを開放します。

跳ね上げ

フットレストの先端を持ち、フットレストの根元を中心にして上方向に 90°回転させて、フットレストを跳ね上げます。

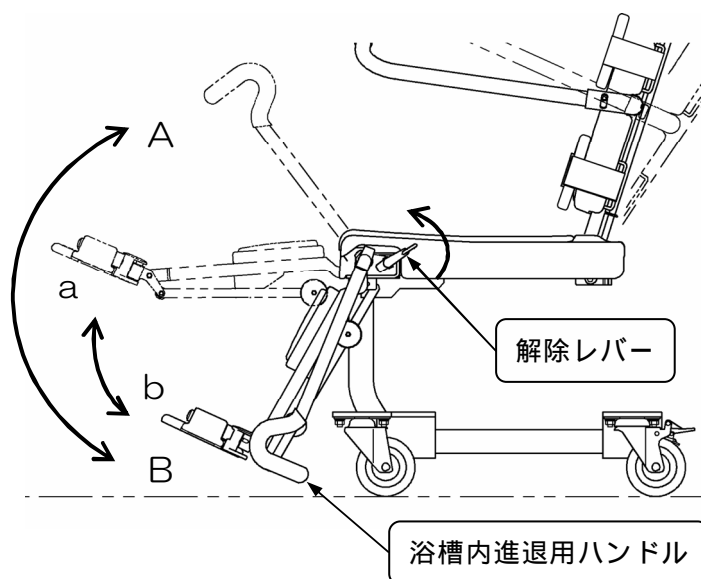
回転

フットレストの根元を上に持ち上げて、外側に 90°回転させます。

浴槽内進退用ハンドル

浴槽へ車椅子を進入させるために、入浴者の足を乗せたままフットレストを持ち上げます。

フットレストを上げる

浴槽内進退用ハンドルを握って、ハンドルがロックする位置（下図Ａの位置）まで持ち上げると、フットレストが一緒に上がり、下図ａの位置でロックします。

フットレストを下ろす

浴槽内進退用ハンドルを下図Ａの位置からやや持ち上げ気味にしながら解除レバーを手前に引くように回転させロックを解除します。ハンドルを下図のＢの位置までゆっくり下ろすと、フットレストが下図ｂの位置まで下がります。

注意　・浴槽進入時にはフットレストを必ず持ち上げる

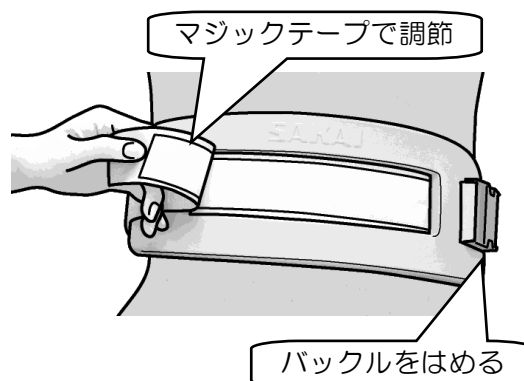
フットレスト持ち上げないまま浴槽に進入させますとハンドルが浴槽に当たり事故につながります。

・フットレストを下げるときは浴槽内進退用ハンドルを途中で離さない

浴槽内進退用ハンドルを途中で離すとフットレストが急激に落ちて危険です。

安全ベルト

パッド付き安全ベルトは胸部用と腹部用に２つついています。

車椅子へ入浴者を移乗させたらパッド付き安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせ、マジックテープで長さを調節します。

 警告　**車椅子に乗せたら、必ず安全ベルトを着用する**

ベルトでの固定が適切でないと、入浴者が落下してけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

ベルトを外すと、入浴者が落下する恐れがあります。

 注意　**安全ベルトの損傷に注意**

手すり

移乗などの際に、手すりや手すりのグリップが邪魔になるときには、手すりを跳ね上げたり、グリップを立てたりすることができます。サイドから移乗する場合は反対側の手すりは水平のままにしてください。

手すりを上げる

跳ね上げるときには、手すりの根元を押して、手すりを回転させてください。入浴者の顔に手すりが当たらないように、グリップを外側に回転させて行ってください。

手すりを下ろす

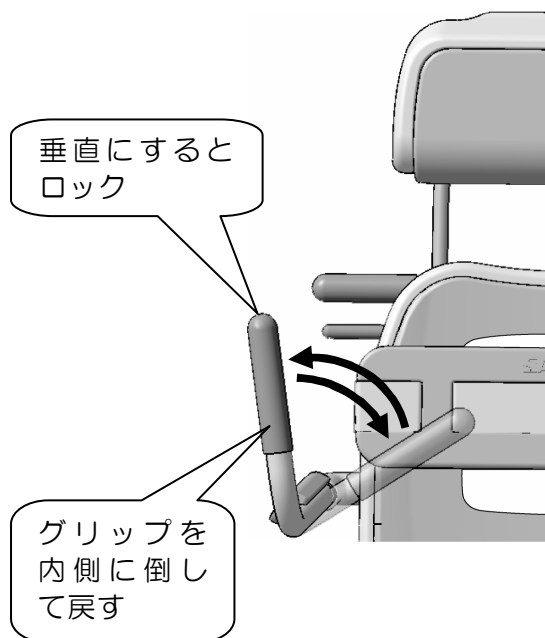
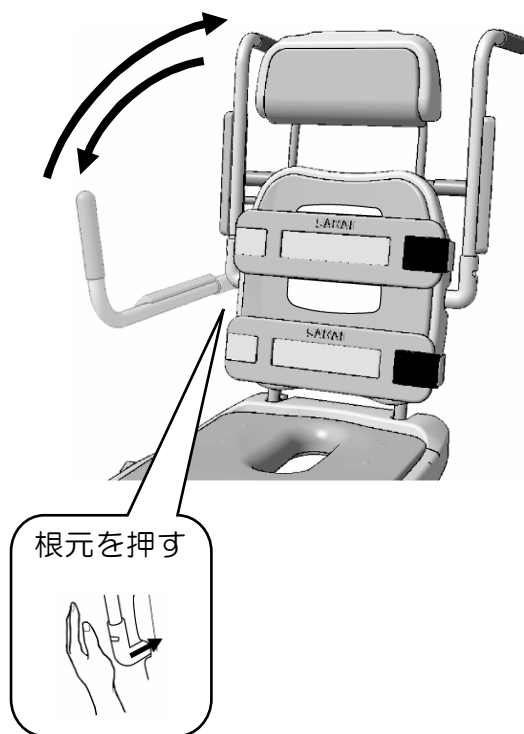
跳ね上げた手すりを下ろすときは、手すりの根元を押して、グリップを外側に回転させたまま下ろします。

グリップを立てる

グリップを外側に回転させると、ほぼ垂直の位置でロックします。

グリップを戻す

グリップを内側に回転させるとロックがはずれ、バネの力で元の位置に戻ります。

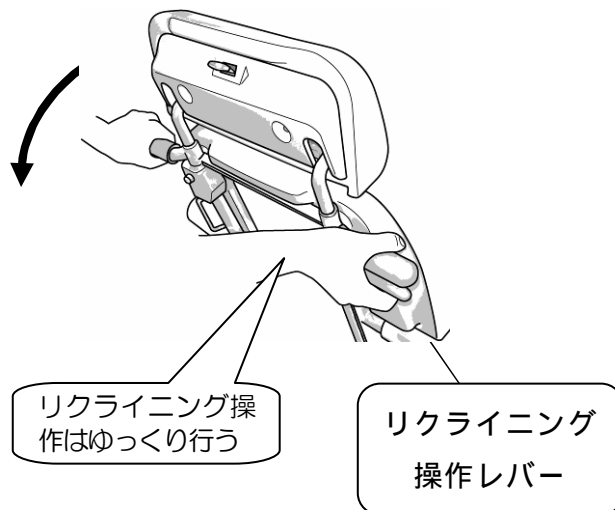
入浴者を車椅子に乗せたら、必ずグリップを倒し、手すりを握らせてください。

警告　車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせる

握っていないと上肢が車椅子の外側に出て入浴時などにけがをする恐れがあります。

背当

必要に応じ、入浴者の状態に合わせ背当のリクライニングを行います。リクライニングした角度は54°、起きているときの角度は72°の2段階です。

リクライニング操作

1　両手で走行用ハンドルを握り、背当を支えます。
2　右手の指でリクライニング操作レバーを持ち上げてゆっくりリクライニングさせます。
3　設定角度になったらレバーを離して背当をロックさせます。

 警告

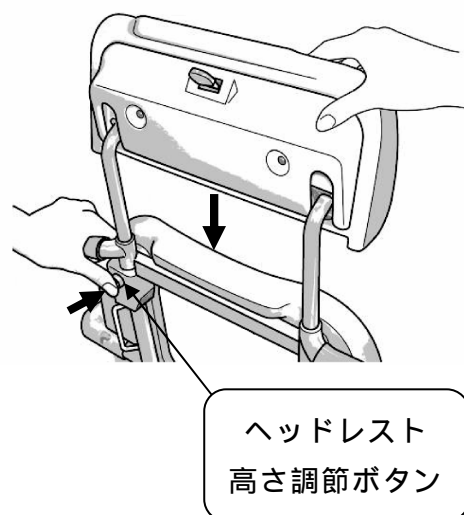
- **リクライニング操作は、ゆっくりと行う**
- **安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない**

  ベルトを外すと、入浴者が落下する恐れがあります。

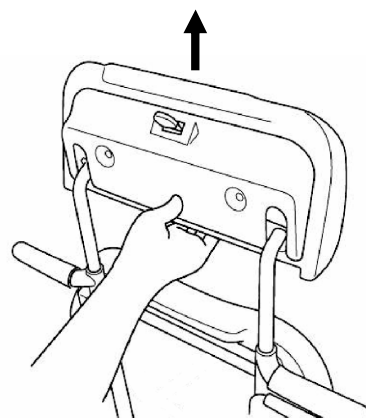
ヘッドレスト

入浴者の体格に合わせてヘッドレストの高さを8段階に調節できます。また、洗髪時の際には、角度を3段階調節することもできます。

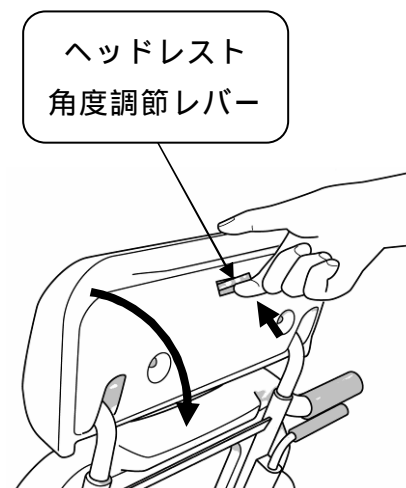
ヘッドレストを下げる

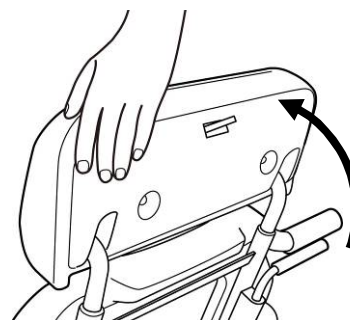
ヘッドレストを下げるときは、ヘッドレストを支えながら、背当裏面のヘッドレスト高さ調節ボタンを押して、ヘッドレストの位置を下げます。

ヘッドレスト
高さ調節ボタン

ヘッドレストを上げる

ヘッドレストを上げるときはボタンを押さずにヘッドレストの下部を持って引き上げます。

⚠注意　ヘッドレストの高さ調節はゆっくりと行い、必ずロックを確認

ヘッドレストを倒す

ヘッドレストを倒すときはヘッドレスト裏面のヘッドレスト角度調節レバーを上げ、ヘッドレスト上部を後ろ側へ倒します。

ヘッドレストを起こす

ヘッドレストを起こすときはヘッドレスト角度調節レバーを上げずに、ヘッドレスト上部を持ち上げるようにして起こします。

⚠注意　ヘッドレストの角度調節はゆっくりと行い、必ずロックを確認

車椅子上の作業手順と注意点

入浴用車椅子へ入浴者を移乗させるとき

1 入浴用車椅子を平らな安全な床面に停止させキャスターのロックを掛けます。
2 移乗はリクライニングを起こした状態（72°）にして行います。やむを得ずリクライニング状態（54°）で移乗する場合は、頭部側へ転倒しないように十分に注意します。
3 移乗する側の手すりをはね上げます。移乗と反対側の手すりは、水平状態のままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。
4 フットレストを上に跳ね上げ、外側に回転させて、入浴者の足周りを開放します。
5 移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用して、手すりを元に戻して握らせてからリクライニング操作と車椅子の移動をします。

入浴用車椅子上で洗髪・洗身を行うとき

1 必ずキャスターのロックが掛かっていることを確認します。
2 入浴者の状態に十分注意しながらリクライニング角度をゆっくり調整します。
（P.13「背当」参照）
3 頭部に無理な力をかけたり、足を持ち上げたりすると転倒や落下する恐れがあります。
4 狭い入浴用車椅子上での体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら注意深く行います。
5 安全ベルトは、少し余裕をもった長さに調節して、必ず着用します。

 警告　入浴用車椅子上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意

狭い車椅子上での作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。十分注意して作業を行ってください。

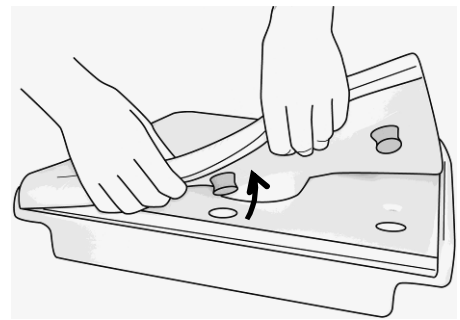
日常のお手入れ

清掃

- マット・安全ベルトは取り外して市販の中性洗剤で洗浄し、直射日光を避け陰干ししてください。
- ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭きとってください。
- 使用後はマットを外し、乾いた布で座面（プラスチック）の水滴をきれいに拭きとってください。
- 座面（プラスチック）が汚れた場合は、市販の液体クレンザーで、表面を洗浄してください。

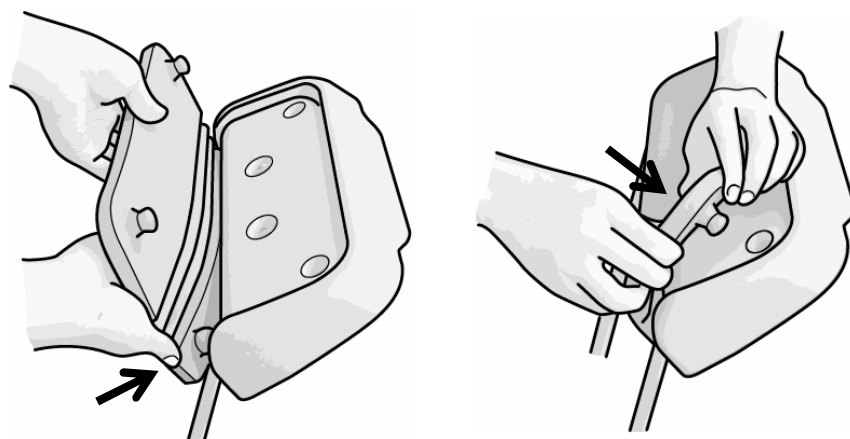
マットの着脱

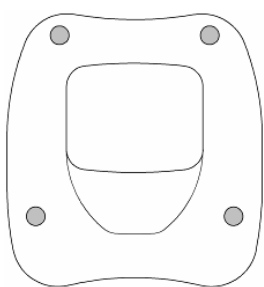
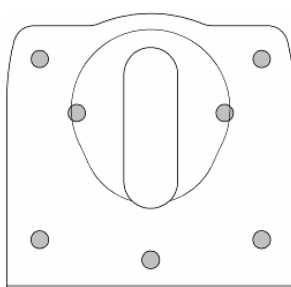
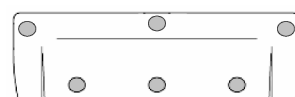
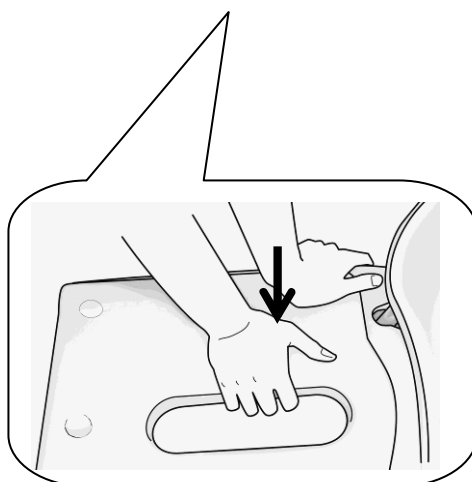
外す

　マット裏の差込凸部の両側を両手で持つようにして、マット止めの穴から一つずつゆっくり外します。

着ける

　マットを椅子の各部に合わせ、マット止めの穴と差込凸部が合っていることを確認してから、マットの表面から差込凸部分を押して、穴にしっかり差し込みます。

◆　ヘッドレストマット

　ヘッドレストをいちばん上まで上げて後ろへ倒し、下側 3 か所の差込凸部と穴の位置を合わせ、マット表面から差込凸部を押してしっかり差し込んでください。下側 3 か所を留めたら、上側 2 か所を同様に留めてください。

◆　背当てマット・座面マット・レッグレストマット

　マット表面のふくらんでいる部分（下図中●印の部分）の裏側に差込凸部があります。その部分をマット表面から押して、しっかり差し込んでください。

⚠注意　マットの損傷に注意

古くなって破れたり、差込凸部が損傷し固定することができなくなったら、新しいものと交換してください。

機器の保守・点検について

・本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施する様お願いいたします。

● 始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	マットの破れ	目視
	安全ベルトのほつれ バックルの破損	目視
	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し、車輪の摩耗	目視及び、触って確認
	枕・手すり・レッグレストの緩み、ガタつき	目視及び、触って確認
機能	キャスターの動き	方向・回転ともスムーズに動くことを確認
	キャスターのロック	キャスターのストッパーを踏んで、キャスターの回転と首振りのロックを確認
	リクライニングのロック	背当て部をロックさせ、力を加えてロックが外れないか確認

● 定期保守点検契約のお勧め

・製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

◆保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

◆修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　　：　*SWP-100C*

  お買い上げ：　　年　月　日

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、機器を分解したりしないでください。

◆損耗品

（使用により、磨耗·劣化·変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。

  マット / 安全ベルト / 踵受け
- 正常な使用において、交換の目安が約３年のもの

  キャスター / 手すりグリップカバー

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

◆耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

◆保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

<table>
<tr><td colspan="2">型　　式</td><td>SWP-100C</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法
(L)×(W)×(H)</td><td>1025×515×1060～1260 ㎜
1390×515×970～1140 ㎜(リクライニング時)</td></tr>
<tr><td colspan="2">質　　量</td><td>約 40 kg</td></tr>
<tr><td rowspan="6">材質</td><td>フレーム</td><td>ステンレススチール</td></tr>
<tr><td>座面・背当　他</td><td>プラスチック（ポリプロピレン）</td></tr>
<tr><td>マット</td><td>プラスチック（ポリエチレン）</td></tr>
<tr><td>パッド・踵受け</td><td>合成ゴム</td></tr>
<tr><td>手すり</td><td>ステンレススチール、粉体塗装仕上げ
（グリップ、カバー付）</td></tr>
<tr><td>キャスター</td><td>ステンレススチール
（後輪２輪　ストッパー付）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">機能</td><td>手すり</td><td>跳ね上げ式</td></tr>
<tr><td>フットレスト</td><td>回転式（踵受け付）</td></tr>
<tr><td>ヘッドレスト</td><td>高さ 8 段階調節、角度 3 段階調整</td></tr>
<tr><td>背もたれ</td><td>手動リクライニング式(水平より 54°、72°)</td></tr>
</table>

注)都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。